

■ イベント等の開催に係る人数上限・収容率の目安

※「①人数上限」及び「②収容率要件による人数」のいずれか小さいほうを限度とする

※業種別ガイドラインの見直しを前提に、イベント等の主催者及び施設管理者の双方において、必要な感染防止対策が担保・公表される場合、下表の取扱いとする（それ以外の場合、従来の制限（末尾別表）を目安とする）

※②については、観客間のクラスター等が発生していないことが確認された催物の形態であることを前提とする

① 人数上限

時期	人数上限	
12/1～当面2月末まで	収容人数 10,000 人超 → 収容人数の 50%	収容人数 10,000 人以下 → 5,000 人
	「熊本市におけるイベント等の開催に関する基準」が順守できない場合、これまで同様 5,000 人以下 かつ収容率 50%以内(屋外：2m程度の間隔)とする	

② 収容率要件による人数

時期	収容率	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大声での歓声・声援等がないことを前提とするもの ■ 飲食を伴うものの発声がないもの（事務連絡別紙2が担保される場合のみ） 	大声での歓声・声援等が想定されるもの
12/1～当面2月末まで	100%以内 (席がない場合は適切な間隔)	50%以内 (席がない場合は十分な間隔)
イベントの種類	コンサート・演劇・スポーツイベント等 ※参加者の位置が固定（座席や立ち位置固定）	異なるグループ（又は個人）間では座席を1席空けることとしつつ、同一グループ（5名以内）内では座席等の間隔を空ける必要はない（この場合収容率は50%を超える場合がある）
	展示会・地域の行事等 ※参加者が自由に移動	<ul style="list-style-type: none"> ■ 収容定員が設定されている場合は 100%以内 ■ 設定されていない場合は密が発生しない程度の間隔（最低限人と人が接触しない程度の間隔） <ul style="list-style-type: none"> ■ 収容定員が設定されている場合は 50%以内 ■ 設定されていない場合は十分な人と人の距離（1m）を要する
	全国的・広域的なお祭り・野外フェス等	クラスタ対策が困難であることから、中止を含めて慎重に判断（但し「P. 5、3③」の場合は開催可能とする）
大声での歓声・声援等がないことを前提とする環境で、参加者が自由に移動できる他の施設（美術館、博物館、動植物園、遊園地等）についても同様の考え方を適用		

- ① これまでの当該イベント等の出演者・出演団体等による類似のイベント等の開催実績において観客が大声での歓声・声援等を発し、又は歌唱する等の実態が見られないもの（実績がない場合は類似イベントに照らしこれらが想定されないもの）
※この要件に該当することについて、イベント主催者において、過去の開催実績に基づく十分な説明が行われない場合は、この要件に該当しないものとする）
- ② これまでの開催実績を踏まえ、マスクの常時着用、飲食制限等を含め、個別の参加者に対して感染防止対策の徹底が行われるもの
- ③ 発声する演者と観客との距離が適切に保たれている等、感染対策等が感染拡大予防ガイドラインに盛り込まれ、それに則った感染防止対策が実施されるもの

【具体例】	
・熊本城ホールのメインホール（収容人数 2,300 人）でクラシックコンサートを行う場合	
① 人数制限 = 2,300 人	
② 収容率 = 2,300 人 × 100% = 2,300 人	
⇒ ① = ②のため、参加者の上限は <u>2,300 人</u>	
・熊本城ホールのメインホール（収容人数 2,300 人）でロックコンサートを行う場合	
① 人数制限 = 2,300 人	
② 収容率 = 2,300 人 × 50%（以内） = 1,150 人	
⇒ ① > ②のため、参加者の上限は <u>1,150 人（以下）</u>	

<各種イベント等における大声での歓声・声援等がないことを前提としうる／想定されるものの例>

大声での歓声・声援等がないことを前提としうるもの	
音楽	クラシック音楽等のコンサート
演劇等	現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカル、読み聞かせ、手話パフォーマンス 等
舞踊	バレエ、現代舞踊、民族舞踊 等
伝統芸能	雅楽、能楽、文楽・人形浄瑠璃、歌舞伎、組踊、邦舞 等
芸能・演芸	講談、落語、浪曲、漫談、漫才、奇術 等
公演・式典	各種講演会、説明会、ワークショップ、各種教室、行政主催イベント、タウンミーティング、入学式・卒業式、成人式、入社式 等
展示会	各種展示会、商談会、各種ショー

※映画館、美術館、博物館、動植物園、水族館、遊園地等についても同様の考え方を適用

音楽	ロックコンサート、ポップコンサート 等
スポーツイベント	サッカー、野球、大相撲 等
公営競技	競馬、競輪、競艇、オートレース
公演	キャラクターショー、親子会公演 等
ライブハウス・ナイトクラブ	ライブハウス・ナイトクラブにおける各種イベント

※遊園地（いわゆる絶叫系のアトラクション）についても同様の考え方を適用

※例示であり、実際のイベント等がいずれに該当するかについては、個別具体的な判断が必要
※イベント中（休憩時間やイベント前後を含む）の食事については業種別ガイドラインに基づき、感染防止対策を実施

寒冷な場面における新型コロナ感染防止等のポイント

1. 基本的な感染防止対策の実施

- マスクを着用
(ウイルスを移さない)
- 人と人の距離を確保
(1mを目安に)
- 「5つの場面」「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」を参考に
- 3密を避ける、大声を出さない

『5つの場面』

- 場面1：飲酒を伴う懇親会
- 場面2：大人数や長時間におよぶ飲食
- 場面3：マスクなしでの会話
- 場面4：狭い空間での共同生活
- 場面5：居場所の切り替わり

2. 寒い環境でも換気の実施

- 機械換気による常時換気を
(強制的に換気を行うもので2003年7月以降は住宅にも設置。)
- 機械換気が設置されていない場合は、室温が下がらない範囲で
常時窓開け(窓を少し開け、室温は18℃以上を目安！)
また、連続した部屋等を用いた2段階の換気やHEPAフィルター付きの空気清浄機の使用も考えられる
(例：使用していない部屋の窓を大きく開ける)
- 飲食店等で可能な場合は、CO2センサーを設置し、二酸化炭素濃度をモニターし、適切な換気により
1000ppm以下(*)を維持
*機械換気の場合。窓開け換気の場合は目安。



CO2センサー

3. 適度な保湿(湿度40%以上を目安)

- 換気しながら加湿を
(加湿器使用や洗濯物の室内干し)
- こまめな拭き掃除を